



パキスタン 企業訪問調査レポート【10】

Baloch Ice Cream

～製造・販売業(アイスクリーム・その他菓子、ソフトドリンク等)～

■ パキスタン・イスラム共和国 — 基礎データ —

- 面積: 796,096平方キロメートル
- 人口*: 約1億8,802万人 (財務省「Economic Survey 2013/2014」)
- 首都: イスラマバード／人口* 144.1万人 (財務省「Economic Survey 2013/2014」)

*: 2014年 計画・開発・改革省による予測。パキスタンでは1998年にCensusを実施した後、10年以上も実施していないために、1998年以降は人口成長率を当てはめて推計人口を算出している。

- 名目GDP総額: 2,338億 3,900万ドル (2013年)
- 実質GDP成長率: 4.1% (2013年)
- 為替レート: 1ドル ≒ 102.99 パキスタン ルピー (2013年 平均値)

出所: JETROホームページ 国・地域別情報(J-FILE)「パキスタン概況(2014年11月更新)」

- 1人当たりGNI: 1,386ドル (2013/2014年度 パキスタン経済白書)

出所: 外務省ホームページ パキスタン「基礎データ」(2014年7月4日)



■ 調査日: 2015年 2月

■ 分野: 製造・販売業(アイスクリーム・その他菓子、ソフトドリンク等)

■ 特徴: 1945年に設立された個人企業。パキスタン国内アイスクリーム市場の50%をユニリーバ系のWalls Ice (英国)が占めるなか、中・低所得層を中心に健闘している。品質へのこだわりが創業以来の成長を支えていると自負している。

企業概要

- 社名: Baloch Ice Cream
- 本社住所: # 14, Jahangir Kothari Trust Raja Ghazanfar Ali Road Saddar, Karachi.
- 工場住所: # 87/A Machi Parra Upper Gizri, Karachi.
- SNS(Facebook): <https://www.facebook.com/baloch.icecream>
- 店舗: Saddarのほか、カラチ市内のClifton、Defence、Gulshan-e-Iqbal、Kharadarに直営店舗がある。それぞれ28～56m²の広さを持ち、1階が椅子席、2階に家族連れやグループ客のための個室を設けた作りとなっている。店名はすべて「Baloch Ice Cream」。これらの直営店舗以外に、ラホールとラワルピンディに4カ所のフランチャイズ店舗がある。
- 設立年: 1945年
- 従業員数: 100人(2014年時点)
- 社是: 環境に配慮するとともに消費者の健康を重視した、天然原材料100%の高品質で健康に良いアイスクリームを製造販売し、中・低所得層に喜ばれるアイスクリームの国内リーディング・メーカーとなる。



店内の様子

ビジネスの概要 ①

商品

- 各種アイスクリーム
- Pani Puri (ジャガイモやコーンなどを小麦粉で包んだ揚げ菓子)
- コーヒー
- ジュース
- Chana Chat (ヒヨコ豆のサラダ)
- Faluda (ミルクにローズシロップやバジルシード、セヴィヤン*、タピオカなどを入れた、冷たく甘いデザート飲料) *：澱粉から作られた麺

など

このうちアイスクリームが売上の60%以上を占めている。



● アイスクリーム ●

1カップ(60ルピー)/シングル(40ルピー)/ダブル(80ルピー)/トリプル(110ルピー)/ファミリーパック(小:300ルピー/大:600ルピー)

ミックス	カシューナッツ	ナッツ入りミルク・アイス
ブルーベリー	チョコチップ	パイナップル
キャラメル・クランチ	コーヒー	ピスタチオ
ローズ	ストロベリー	砂糖漬けフルーツ
バニラ	マンゴー (季節限定)	チョコ(チューインガムの木/季節限定)
バナナスプリット	Faludaアイスクリーム	

● ジュース ●

グレープフルーツ	オレンジ	パイナップル
ザクロ		

● ミルクシェイク ●

マンゴー	アーモンド	バナナ
ストロベリー	チョコ	カシューナッツ
イチジク	デーツ	パイナップル
アイスクリーム・シェイク	Faluda	アイスクリームFaluda

● ソフトドリンク・その他フード ●

エスプレッソコーヒー	アイス・コーヒー	ローズ・ミルク
バナナスプリット	ミックス・シーズニング	Pani Puri
ヒヨコ豆のカレー	Chana Chat(ヒヨコ豆のサラダ)	



ビジネスの概要 ②

生産・配送

■原材料の調達

原材料はすべて国内卸売市場で調達している。主なものは以下のとおり。

●牛乳・クリーム ●ナッツ類 ●生鮮および缶詰フルーツ ●香料・着色料 など

■生産および生産量

アイスクリーム以外の商品も含め、すべてSaddarの本社工場で作っている。

自社店舗用のアイスクリームは夏季に500L/日、それ以外の季節は250～300L/日を生産している。これとは別に、フランチャイズ店舗用として自社店舗用とほぼ同量の製品を生産している。

工場は、停電による品質劣化を防ぐため、冷蔵庫電源のバックアップ用にガスおよびディーゼル発電機を備えている。

■配送

自社店舗には自社車両で配送し、ラホールとラワルピンディのフランチャイズ店舗には、毎週カラチから空輸している。

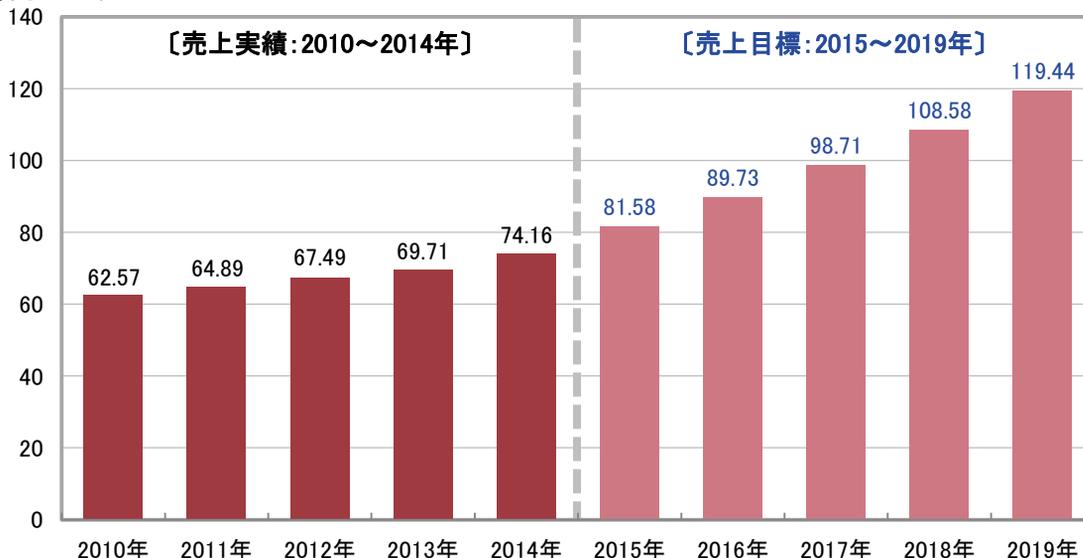


売上推移と今後の売上目標

Balochは過去5年間の間で売上が18.5%の伸びを見せており、出荷量は20%増加している。

今後は、小売店あての卸しやフランチャイズ網の拡充により、年率10%の売り上げ増を実現したいとしている。パキスタン国内では現在、外出禁止令などの諸制限があり、これらが緩和されれば、売れ行きもさらに伸びるものと同社経営陣は考えている。

(百万ルピー)



JETRO

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

ビジネスの概要 ③

マーケティング

■ パキスタンにおけるアイスクリームの市場

アイスクリームのパキスタン国内市場規模は、2009年から2015年の間に25%の伸びを示すものと見られている。年間消費量の65%は夏場に、残り35%がそれ以外の季節に消費されている。全体消費量の38%を5～15歳の子供が消費し、62%が大人によって消費されている。

■ 競合他社

ユニリーバ系Walls Ice(英国)、およびRaju ice cream、Peshawari ice cream、Chamak icecream(パンジャブ州のみ)が挙げられる。WallsIceが50%のシェアを持ち、Baloch、Raju、Peshawari の3社で残りのほぼ50%を占めているものと、Balochの経営陣はみている。

■ 広告・宣伝

- 特段のPRIは行っておらず、近年は各店舗に大きな看板を掲げている。
- 2012年頃からSNS(Facebook)を利用している。

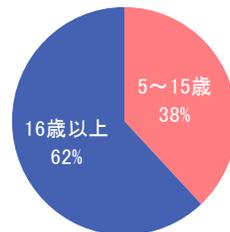
今後の計画

BalochはWalls Iceに比べ、いまだ小規模パーラーであり、さらに伸びる余地があるとみており、最近他社が導入している三輪車による街頭販売を考えている。また、最近Walls Iceなどが始めた1Lや0.5L入りパックの小売店卸しに参入すると共に、ペシャワールおよびイスラマバードでのフランチャイズ網の拡充と新規設置を行う計画である。

■ 日本(外資系)企業へ期待すること

Baloch経営陣は、将来的にパキスタン国内全主要都市への店舗展開を望んでおり、そのための資本協力が得られる日本企業を求めている。

パキスタンにおける
【アイスクリーム消費者の内訳】



パキスタン市内にある店舗の外観

【従業員数の推移】



三輪車による街頭販売が導入されれば、従業員数の拡大が予想される。

編集後記

- Balochは、大手のWalls Ice中心の市場から徐々に消費者の人気を獲得しつつあるが、大手企業が大小様々な小売店舗のネットワークを動員し、販売力を振るっているのに比べると、店舗数が少ないため入手のしやすさにおいて大きく見劣りがする。しかし、Balochの店舗の立地はカラチの商業中心地にあり、ラホールやラワルピンディのフランチャイズ店も繁華街にあるため、街に出歩く人々はBalochを好んで訪れている。
- Balochの商品は天然材料を使用しクリーミーで手作り感があり、シュガー・フリーのアイスクリームも揃えている。また、アイスクリームの価格が1カップで60ルピーと割安であることも、魅力と言える。



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。